

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公表番号】特表2010-531847(P2010-531847A)

【公表日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-039

【出願番号】特願2010-513956(P2010-513956)

【国際特許分類】

C 0 7 C 227/42 (2006.01)

C 0 7 C 227/44 (2006.01)

C 0 7 C 229/16 (2006.01)

C 1 1 D 3/33 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 17/06 (2006.01)

C 1 1 D 11/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 227/42

C 0 7 C 227/44

C 0 7 C 229/16

C 1 1 D 3/33

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 17/06

C 1 1 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月27日(2011.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- アラニン - N , N - 二酢酸及び / 又は - アラニン - N , N - 二酢酸の1以上の誘導体の粉末から出発し、

a . - アラニン - N , N - 二酢酸及び / 又は - アラニン - N , N - 二酢酸の1以上の誘導体の粉末をローラープレスで圧縮してスラグを取得し、

b . 前記のスラグを破碎し、かつ

c . 前記の破碎されたスラグを篩分けする

ことによって、本質的に - アラニン - N , N - 二酢酸及び / 又は - アラニン - N , N - 二酢酸の1以上の誘導体を含む、易流動性でかつ貯蔵安定性の固体を製造するための方法において、ローラープレスでの圧縮を、35 を上回る融点を有するポリエチレングリコールを添加して行い、その際、ローラープレスでの圧縮のためのポリエチレングリコールの添加が、ローラープレスでの圧縮に供給される - アラニン - N , N - 二酢酸及び / 又は - アラニン - N , N - 二酢酸の1以上の誘導体からなる粉末及びポリエチレングリコールの全質量に対して2 ~ 15 質量%であることを特徴とする方法。

【請求項2】

ローラープレスでの圧縮を、40 を上回る融点を有するポリエチレングリコールを添加して行う、請求項1記載の方法。

【請求項 3】

ローラープレスでの圧縮のためのポリエチレングリコールの添加が、ローラープレスでの圧縮に供給された - アラニン - N , N - 二酢酸及び/又は - アラニン - N , N - 二酢酸の 1 以上の誘導体からなる粉末及びポリエチレングリコールの全質量に対して 5 ~ 15 質量%である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

ローラープレスでの圧縮のためのポリエチレングリコールの添加が、ローラープレスでの圧縮に供給された - アラニン - N , N - 二酢酸及び/又は - アラニン - N , N - 二酢酸の 1 以上の誘導体からなる粉末及びポリエチレングリコールの全質量に対して 7 質量%である、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

ローラープレスでの圧縮を、ローラー幅及びローラー直径に対して、 $2 \sim 10 \text{ N/mm} \times \text{mm}$ のローラー上でのプレス圧で行う、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

他の添加剤と混合し、かつ圧縮してタブレットにすることによって食器洗浄機用タブレットを製造するための、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法により製造された、本質的に - アラニン - N , N - 二酢酸及び/又は - アラニン - N , N - 二酢酸の 1 以上の誘導体を含む、易流動性でかつ貯蔵安定性の固体の使用方法。